令和5年度　学校経営計画

令和５年４月
大田区立北糀谷小学校
校長　細　井　鏡　子

社会の要請　教育の果たす役割

〇Society5.0 時代　〇人口減少・高齢社会　〇グローバル化にともなう国際理解教育　〇地球環境問題等(SDGｓの取組)
〇不登校児童・生徒への支援　〇いじめ・体罰・虐待等の早期発見・防止　〇感染予防や大規模自然災害等の対策
〇STEAM 教育の推進　　★予測困難な未来社会を生きぬく意欲や資質・能力の育成

東京都教育施策大綱　<令和３年3月30日発表>

「誰一人取り残さず、すべての子どもが将来への希望をもって、自ら伸び、育つ教育を目指して」『東京型教育モデル』の重要な事項

- 一人ひとりの個性や能力にあった最適な学びの実現
- Society5.0 時代を切り拓くイノベーション人材の育成
- 世界に羽ばたくグローバル人材の育成
- 教育のインクルージョンの推進
- 子どもたちの心身の健やかな成長に向けたきめ細かいサポートの充実
- 子どもたちの学びを支える教師力・学校力の強化

【児童の実態】<成果となること>

〇素直、あいさつが上手、よくはたらく
〇プログラミング教育の積み重ねがある
〇興味・関心をもつと集中して取り組む

【さらに伸ばすために】

◇他者への共感や思いやり、自己の確立
◇未来を創造する資質・能力の育成
◇外部機関を活用した教材開発

【未来】
【知】
【徳】
【体】

【学校】
【家庭】
【地域】

※一つ一つの項目の具体的な内容については、本校ホームページ「令和５年度　学校経営計画」に掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

「おおた教育ビジョン」<2019年度~2023年度>

～ 豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる ～

- 社会の変化に主体的に対応し、未来を創る力を育成する
- 「知」「徳」「体」の調和のとれた成長を図り、豊かな人間性を涵養する
- 意欲にあふれ、個性と可能性を伸ばす学びの場を創出する
- 地域の特色を生かし、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもを育てる

【児童の実態】<課題となること>

- 主体的な学び　　・基礎学力の定着
- 基本的な生活習慣
- 不登校や特別な支援が必要な児童への対応

【課題を解決するために】

◇キャリア教育の推進◇教師の授業力の向上
◇専門性を生かした授業実践⇒高学年教科担任制の実施◇主体性を育てる実践と評価
◇家庭学習の推進　◇家庭との連携
◇個に応じた教育、サポートのさらなる充実

学校教育目標

◇元気な子　　◇よく考える子　　◇仲よくする子　　◇はたらく子

目指す学校像

合言葉は

「これまで」と「今」を「これから」につなぐ

今日が楽しく　明日が待たれる学校

～行きたい学校・帰りたい家庭・住みたい地域～

〇教育活動全体を通してキャリア教育を推進し、主体的に取り組む児童を育てる
〇外部の力を取り入れた教育活動、STEAM 教育の推進、個々の教師の専門性やよさを生かした授業やカリキュラム・マネジメントした授業など魅力ある教育活動を積極的に行い、個性と可能性を伸ばす「学びの場」を創出していく→新設教科「おおたの未来づくり科」開設に向けた「製品の開発」「地域の創生」の授業を開発する

〇高学年は教科担任制を実施し、授業の質の向上や、児童一人一人の学習内容の理解度・定着度の向上を図る
未来に生きる子どもの姿→自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができる

〇「楽しさの保障」を行い、よりよい人間関係を育成する教育活動を計画的に実践していく
未来に生きる子どもの姿→他者への共感や思いやりをもつとともに、自己を確立し、多様な人々が共にきる社会の現実に寄与できる

〇学校・家庭・地域が、それぞれの機能を発揮し、協力・協働して子どもたちを育てていく本校ならではの連携の体制を一層充実させていく
未来に生きる子どもの姿→地域・社会に貢献できる